



令和6年10月15日
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇の動向について

海上自衛隊は、令和6年10月13日（日）から14日（月）に引き続き、15日（火）正午頃、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」（艦番号「16」）、レンハイ級ミサイル駆逐艦（艦番号「103」）及びルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（艦番号「118」）の計3隻が、与那国島（沖縄県）の南約490kmの海域を航行していることを確認した。

また、14日（月）から15日（火）の間に、空母「遼寧」の艦載戦闘機によるもの約90回及び艦載ヘリによるもの約50回、計約140回の発着艦を確認した。

その後、15日（火）に、これらの艦艇が南シナ海へ向けて航行したことを確認した。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第8護衛隊所属「きりさめ」（佐世保）により、警戒監視・情報収集を行った。また、艦載戦闘機の発着艦に対し、航空自衛隊の戦闘機を緊急発進させる等の対応を行った。

クズネツォフ級空母「遼寧」（艦番号「16」）



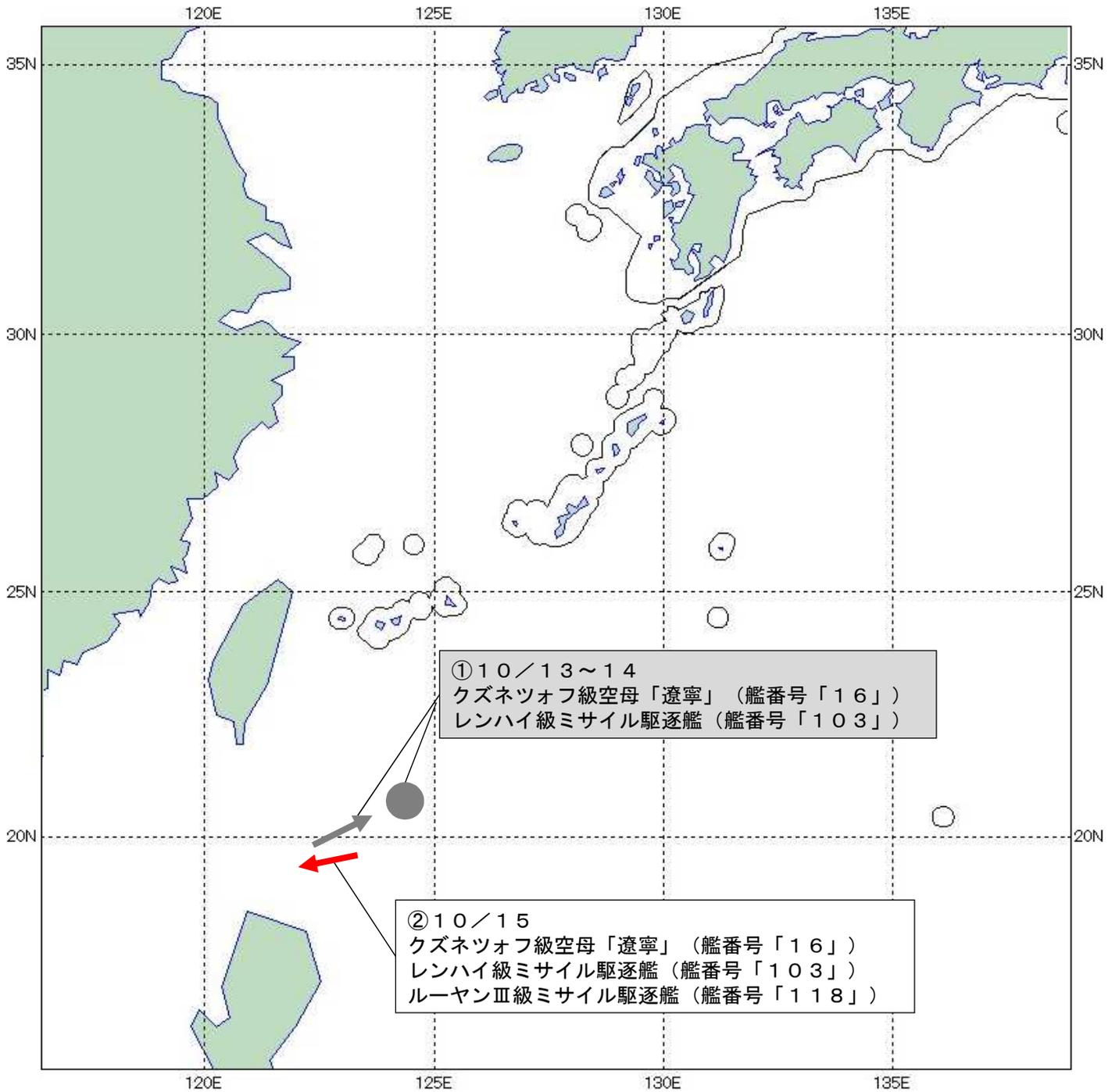
レンハイ級ミサイル駆逐艦（艦番号「103」）



ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦（艦番号「118」）



行動概要



 : 中国海軍艦艇

 : 今回公表

 : 既公表